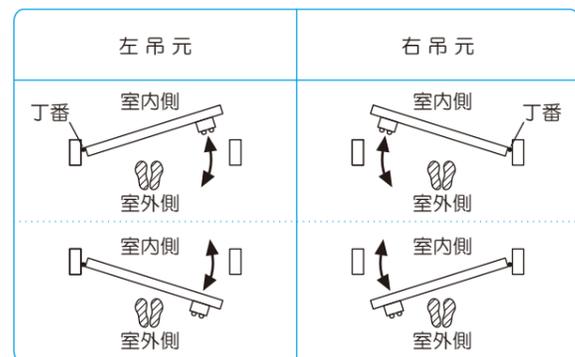


吊元と吊元設定の確認

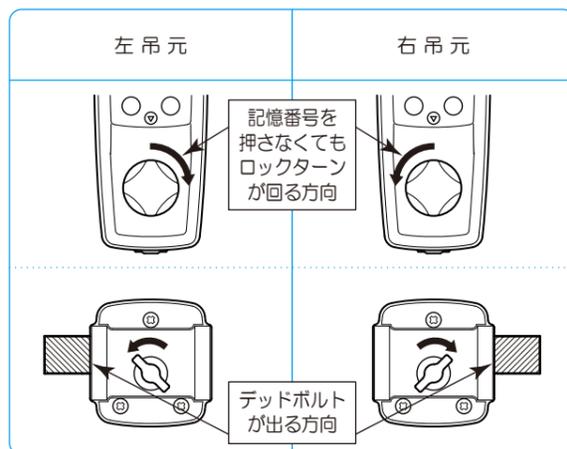
【1】下図で扉の吊元を確認します

キーレックス本体（ボタン側）から見て扉の丁番が右か左のどちらについているかで判断します



【2】キーレックス本体と面付室内座の吊元設定を確認します

取り付ける扉と吊元が違う時は、吊元を変更してください（別紙 取付説明書 ②【2】【3】参照）



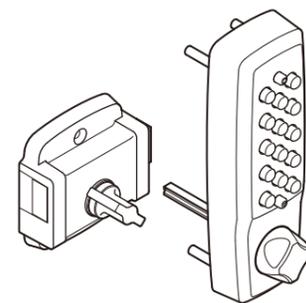
KEYLEX[®] 2100

7260005

KL2100
面付本締錠

取扱説明書（施主様向）

このたびは、当社製品のお買い上げ、ありがとうございます。本取扱説明書は、施主様、又はご入居者にお渡しください。この説明書は必ずお読みの上、保管してください。



22404
22404M

防犯上、定期的に記憶番号の変更をされますようおすすめ致します。

〈記憶番号の記録〉		
年	月	日
年	月	日
年	月	日
年	月	日
年	月	日
ただ今の記憶番号		

記憶番号設定に関するご注意

- KL2100は1～14桁まで任意の記憶番号を設定できます。
- ボタンを押す順番は自由です。順番は指定できません。
例) 記憶番号 1・2・3 の場合
1・2・3 と押しても 2・3・1 3・1・2 1・3・2 と押しても解錠できます。
- 1つのボタンにつき設定は1回だけです。（同じボタンを2度押す設定はできません）
例) 1・1・2・3 や 1・2・2・3 の設定はできません。



注意 危険防止の為に以下をお読みください

- 取付時の注意
 - 各部取付ねじの締め付け時は、必ず手動ドライバーをご使用ください。電動ドライバーは使用しないでください。
- 取付ねじのゆるみ
 - 各部取付ねじのゆるみは、防犯及び落下防止の為に定期的に増し締めしてください。
- 受座の飛び出し
 - 受座の飛び出しが大きい場合、体を傷つけたり、衣服を引っ掛けるおそれがありますので、取付業者に依頼して適正な受座に取り替えてください。
- 他の用途への使用
 - ロックターンにぶらさがったり、足場にしたり、物を掛けたりしないでください。危険です。
- ◆ 操作上の注意（故障の原因となります）
 - 製品の分解、改造はしないでください。
 - デッドボルトを突出させた状態で扉を閉めないでください。
 - ボタンを押しながら、ロックターンの操作をしないでください。
- ◆ 永くご使用頂くために
 - 表面の手入れは柔らかな布でから拭きしてください。汚れのひどい場合は、中性洗剤を使用してください。



NAGA
SAWA

www.nagasawa-mfg.co.jp

株式会社 長沢製作所

東京支店 TEL. 03-5383-1811 (代) 福岡出張所 TEL. 092-524-7031 (代)
FAX. 03-5967-3103 FAX. 092-524-7032
大阪支店 TEL. 06-6783-5091 (代)
FAX. 06-6783-5092

ドアの吊り下がり、扉の開閉速度、丁番の具合など異常がありましたら専門の業者にご相談ください。

基本操作

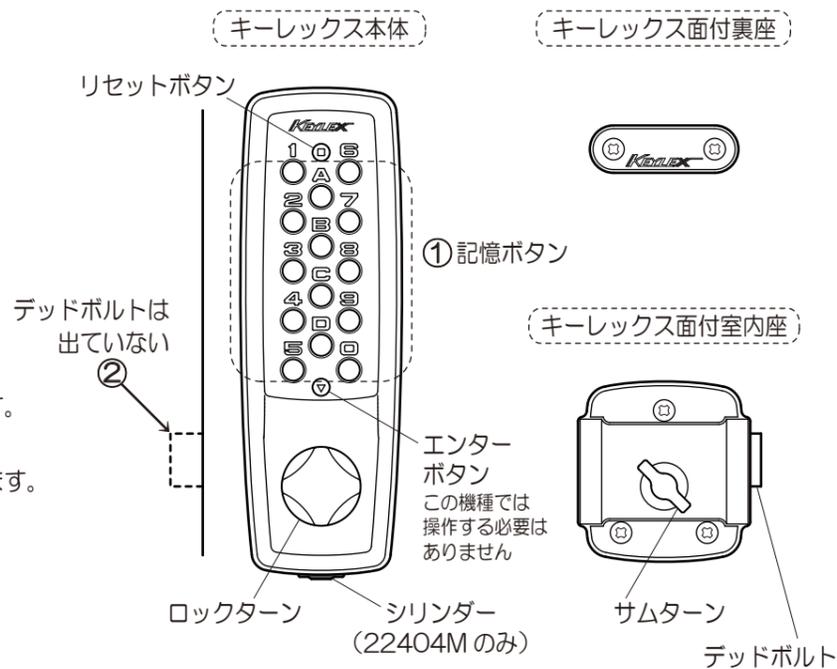
ご使用前に確認してください

- ① 登録している記憶番号
- ② 室内座のデッドボルトが扉から出ていない

鍵付タイプの場合は
記憶ボタン操作の代わりに
キー操作でも開扉できます

- 【施錠】 シリンダーにキーを入れ回し、
デッドボルトが出ることを確認します。
- 【解錠】 シリンダーにキーを入れ回し、
デッドボルトが納まることを確認します。

※ 図は右吊元仕様です
(吊元については4ページの
吊元と吊元設定の確認を参照)



室内側

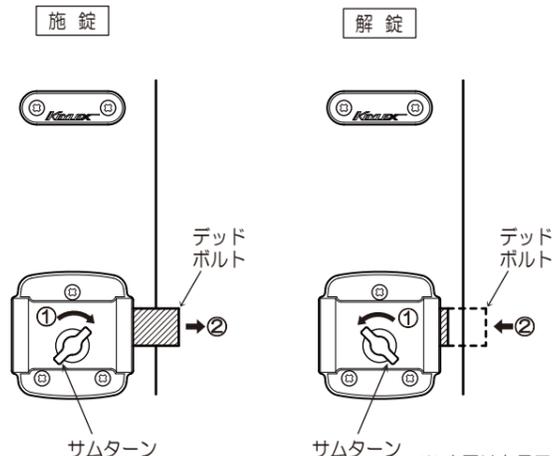
室外側

施錠

- ① サムターンを回します
- ② デッドボルトが出て、施錠されます

解錠

- ① サムターンを回します
- ② デッドボルトが納まり、解錠されます

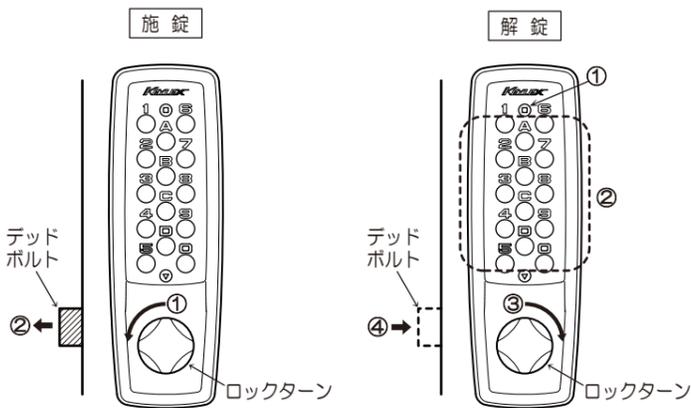


施錠

- ① ロックターンを回します
- ② デッドボルトが出て、施錠されます

解錠

- ① リセットボタンを押します：誤操作の記憶番号が解除されます
- ② 正しい記憶番号を押します
- ③ ロックターンを回します
- ④ デッドボルトが納まり、解錠されます



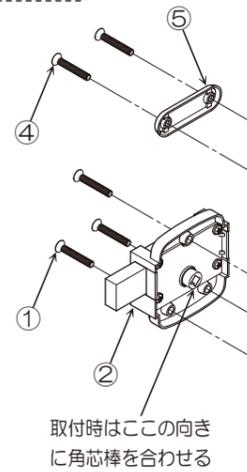
※ 本図は右吊元仕様 (左吊元時は対称)

記憶番号の変更手順 扉は開けたままの状態でおこないます

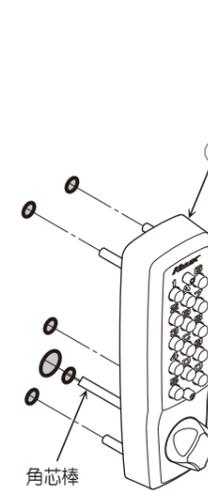
【1】キーレックス本体を取り外します

取り外した部材は全て使います。紛失しないようにご注意ください

室内側



取付時はこの向き
に角芯棒を合わせる



角芯棒

本図は右吊元仕様 (左吊元は対称)

I: ①本体固定ねじ3本をはずし、②面付室内座を取りはずします

II: ③キーレックス本体の落下に注意しながら

④本体固定ねじ2本をはずします

II: ③キーレックス本体と⑤面付裏座を取りはずします

左吊元取付時の位置



角芯棒の向き

デッドボルトの向き

右吊元取付時の位置



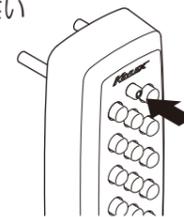
角芯棒の向き

デッドボルトの向き

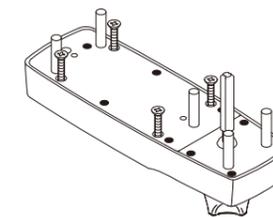
室外側

【2】記憶番号の設定変更をします

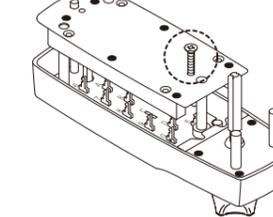
I 本体表側のリセットボタンを押す
⑧まで記憶ボタンは押さないで
ください



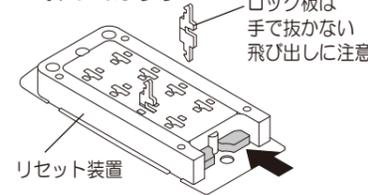
II 本体裏のねじ4本をはずす
(赤色ねじははずさない)



III ねじを下図の位置に入れ
持ち上げる



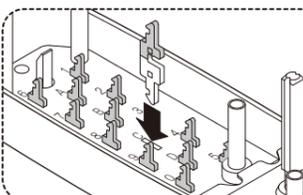
IV リセット装置にロック板が残った場合
灰色部を矢印方向に
押しははずす



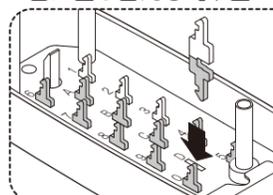
ロック板は
手で抜かない
飛び出しに注意

リセット装置

V 今までの記憶番号を消す：白色
のロック板を赤色に差し替える



VI 新規記憶番号をセット：新しく
記憶させる番号のロック板を白
色に差し替える【下図 123D】



- ⑦ 新しい記憶番号を必ず記録します。本紙1ページに記入欄があります
- ⑧ リセットボタン + 新しい記憶番号 を押し、ロックターンが解錠方向に回ることを確認します。

基本操作 室外側欄を参照します

【3】本体を取り付けます

【1】と逆の順番で取り付けます
角芯棒、デッドボルトの向きに注意して取り付けます (上図参照)

取り付けたら、扉を閉めずに2ページの **基本操作** で作動確認をします